## 編集後記

8月に入りまさに酷暑の毎日となっています．なぜこの暑さのさなかに2020年東京オリンピック開催としたのかいささか疑問に思う今日この頃です．とはいえ，確かに冬季種目を除く若者のスポーツ大会は夏休みに行うことが多く，高校総体，高校野球などは真夏の大会ですし，東医体，西医体も夏の開催で，われわれも真っ黒になってグランドを走り回っていた頃が懐かしく思いだされます．子どもたちには，暑い夏であっても，水でも飲みながら戸外で遊びまわり，珍しいものに触れ，驚き，体を動かすことに慣れてもらいたいものですが，便利な世の中は涼しいところにすぐに入り込み，汗をかかないように仕向けているような気がしてなりません．子どもたちが大人になった時に夏を楽しめるようにしておくことも，大人は考える必要があるでしょう．

真夏の本号の特集は「日常診療で見逃されやすい頭部・神経疾患」として，脳性麻痺，点頭てんかん，頭蓋縫合早期融合症，発作性ジスキネシア，ナルコレプシーを取り上げました．いずれも真の疾患に遭遇することはそう多いものではありませんが，早期発見・早期治療（あるいは早期の取り組み）が必要なことは言うまでもなく，日常診療の中で常に鑑別するために念頭に置いておくべきこととしてぜひご一読いただければと思います．

「総説」には，学童以上であれば非侵襲的で外来でも実施可能な気道炎症マーカーである呼気中NO濃度測定法について解説いただきました．また，近年小児でも増加傾向にある「花粉症」についても解説をいただきました．「診療」では，まさに日常診療の中での相談は多く，的確な説明と，必要に応じて専門医への紹介が必要である「小児のアザ」について鮮明な写真とともにご寄稿いただきました．「社会小児科学」では発達障害（表記を「障害」とするか「障がい」とするかは，著者の表現通りとしました）について，1編は教育の場においてよく用いられる「合理的配慮」とは何か，1編は心理学精神医学分野で用いられることの多い「レジリエンス（精神的回復力，耐久力などと訳される）」の尺度の開発経過とその適用方法を述べていただきました．

最近は「症例」について投稿論文を多くいただいておりますが，本号では，アセトアミノフェンアナフィラキシー，深鎮静により意識障害の診断が困難であったけいれん重積型急性脳症，非典型的皮膚症状のChurg-Strauss症候群，Head-up tilt試験の有効例，B前駆性急性リンパ性白血病，ムンプス両側難聴の改善例など，日常の診療に有用な情報が含まれる論文を多く掲載することができました．経験した症例についてまとめて下さった先生方に厚く御礼申し上げます．

（岡部　信彦）


編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄（ABC順）

**小児科**

第58巻第8号　　8月号
2017年8月1日発行（毎月1回1日発行）
**定価（本体2,600円＋税）**

年間購読料金
定価（本体41,000円＋税）
〔年間13冊（増刊号，増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所　金原出版株式会社
発行者　福村直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14
Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕
Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕
FAX 03(3813)0288
http://www.kanehara-shuppan.co.jp
振替口座　00130-1-191269
印刷所　三報社印刷株式会社　Tel 03(3637)0005
広告申込先　福田商店　Tel 06(6941)5600



・本誌に記載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は金原出版株式会社が保有します．
・JCOPY ＜(社)出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています．複製される場合は，そのつど事前に，(社)出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください．




2026/10/13 18:49:25